

事業評価シート（平成25年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	介護老人福祉施設整備費等助成事業		
事業担当	福祉部 高齢福祉課		
事業種類	●ハード ○ソフト		
総合計画の位置付け	'02	基本目標2 子育て、長寿を楽しみ、安心していきいきと暮らせるまち	
	'03	③<健康・安心・福祉力>その人らしく安心して暮らせる生活を支援する	
	'02	2 多様な地域課題に的確かつ総合的に対応する地域密着のサービスを充実する	
根拠法令等	平塚市老人福祉施設の施設及び設備の整備費助成要綱		
対象・受益者	特別養護老人ホームを整備する社会福祉法人	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】		
	目的・目標		事業の概要
介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）の入所待機者が解消しています。		介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）の整備を支援します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	支援施設数				単位	施設
	説明・算定式	介護保険事業計画(第5期)に基づく					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度		
	目標	1	4	2	2		
	実績	1	3	2			
活動指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度		
	目標						
	実績						
成果指標①	指標名	解消された待機者数				単位	人
	説明・算定式	定員増により解消された待機者数(介護保険事業計画(第5期))に基づく					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度		
	目標	0	0	80	137		
	実績	0	0	80			
成果指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度		
	目標						
	実績						
進捗状況	①：予定どおり						
	遅れている理由						
平成25年度の主な取組と成果							
特別養護老人ホーム1施設80床が平成25年12月2日に開所したため、25年度の出来高である70パーセント分の補助金を執行しました。(24年度に30%を執行済みです。) 別の1施設120床が平成25年11月に着工し、予定どおり工事が進んだため、25年度の出来高である20パーセント分の補助金を執行しました。(26年度に残りの80%を執行予定です。)							
平成25年度の検証結果	A：成果があがった						

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価	
事業分析	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	特別養護老人ホーム入所待機者が依然として多いことから、市民ニーズが高く、市民のニーズに応えるため、特別養護老人ホームを整備する社会福祉法人に対する市の助成が必要です。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	入所待機者を解消することにより、介護者の負担を軽減できることから、有効性は高い事業です。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	特別養護老人ホームの建設費補助は、国の補助がなくなり、社会福祉法人の負担が増加していることから、施設建設促進の観点により市が助成を行うことは妥当です。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	特別養護老人ホームを直接整備、運営する自治体もありますが、民間活力を活用する方が効率的です。	● 高 ○ 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析 特別養護老人ホーム入所待機者を解消するためには、特別養護老人ホーム等の施設整備だけでなく、高齢者が住み慣れた地域で安心して長寿を楽しめるよう、その生活支援や在宅介護サービス、家族介護者支援等の充実が必要です。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 予算額
事業内容		介護老人福祉施設整備への支援	介護老人福祉施設整備への支援	介護老人福祉施設整備への支援	介護老人福祉施設整備への支援
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	0	39,000	132,600	166,400
事業費 (A)		0	39,000	132,600	166,400
執行率 (%)		—	100.00	100.00	
内訳	職員 (人)	1.25	0.90	1.00	0.95
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		10,130	7,214	7,948	7,423
フルコスト (A+B)		10,130	46,214	140,548	173,823

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成27年度の取組方針 平成26年度に策定する高齢者福祉計画(介護保険事業計画[第6期])に基づき、特別養護老人ホームの建設と同時に在宅介護サービスを充実させ、待機者の解消に努めていく方針です。平成27年度は公募の手続き等を進めていきます。
課長コメント 平成27年度以降の整備目標については、高齢者福祉計画(介護保険事業計画[第6期])の中に明記し、公募による業者選定を行い、確実な整備を進めることにより、入所待機者の解消に努めてまいります。また、一方では、介護が必要な状態になっても、住み慣れた地域の中で継続して生活できるよう、在宅医療・介護の連携に取組みます。